

長曽根御門の復元に向けて 実測調査始まる

彦根城外堀には、城下に通じる7つの門が存在したが、明治初期の城郭解体の煽りを受け、全てが解体され現存していない。しかし、幸いにも、この長曽根御門は近くの教禅寺に移築され、山門として再生された。その後、昭和6年新たな山門の建設に当たり、2度目の解体の憂き目にあったが、御門の部材は、住職等の努力により本堂の床下で70年以上も保管され現在に至っている。



御門付近の外濠跡



長曽根御門部材

今回、我々NPOでは濱崎滋賀県立大学教授（NPO理事）を中心に、この文化財的資産の活用と同時に、世界遺産登録への気運を盛り上げるために、周辺にわずかに面影を残す外堀跡を含む長曽根御門の往時の姿への復元に向けての調査研究を進めている。

私の好きな

まちなかスポーツ

誰がなんと言っても

「中央公園」

登町通り、銀座通り、中央町通りに三方を囲まれた真ん中にある公園——正式には「外馬場公園」——は、私にとっては子どもの頃から「中央公園」であって、思い出のいっぱい詰まった場所である。



小学生の頃、芹橋に住んでいたのが中央公園の横が通学路であった。当時は普通のプランコのほかに、4人乗りで箱型の“地上にのりた観覧車”のような

もの、鉄棒、滑り台などが備えられ、また、池があり、その横には藤棚もあって、立派な公園であった。今でも、池や藤棚などは昔の風情のまま残っていて公園らしさが失われていないのはうれしい。

この公園の思い出のひとつとして、未だ各家庭にテレビが普及する前の昭和30年代半ばには大きな木の横に街頭テレビが設置され、大相撲や力道山が活躍するプロレスの時間などは人だかりができていた。たしか、現天皇・皇后の結婚式もここで見る事ができた。また、何年かごとにサーカスが来て、大きなテントが張られた。サーカスが来ると、団員の子ども達が私たちの学ぶ近くの城東小学校に興行期間中だけ転校してきて、話題になったものである。



現在、幼児広場として子ども用の水遊び場のある一角は、当時としてはめずらしいテニスコートであった。

また、今、公園の横にある千代神社は、私の子どもの頃には、佐和山のふもとのセメント工場のすぐ近くの森の中にあった。そこは古沢町の東海道線と近江鉄道の踏み切りを越えたまだ先にあって、子どもの足ではずいぶん遠くであった。お祭りの日にそこから子ども神輿をかついで銀座あたりまで繰り出したことを思い出した。昭和41年に遷宮されたということだが、重要文化財のお社をセメント工場の公害から守るためであったらしい。



今回、「中央公園」と言う呼び名を改めて図書館で調べてみたが、どこにもその記述は見あたらず、何故「中央公園」と呼ばれてきたのかよくわからない。しかし、はじめにも書いたが、今「外馬場公園」と呼ばれるこの公園は、私達にとって誰がなんと言おうと「中央公園」であったし、今もなお「中央公園」なのである。

（彦根景観フォーラム会員 佐々木 勉）

話し合う夢から始まる・まちづくり NPO・彦根景観フォーラム入会のご案内

教員や学生、建築家、主婦、会社員、市民、商店主、公務員など、いろんな人と知恵が集まります。

- 定例ワークショップ 毎月第2水曜日午後7時～9時 滋賀大学陵水会館にて 年会費 6,000円
- 彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968/0749-27-1141 FAX 0749-27-1431
ブログ:<http://hikonekeik.exblog.jp> e-mail: hikonekeikan@hotmail.com
- きらっと彦根 年4回発行 次号1月10日予定 発行/山崎一真 編集/堀部栄次



きらつと彦根

2006・10

彦根まちづくり情報誌 2006年10月10日 通巻6号 編集/発行：NPO法人彦根景観フォーラム

「直弼」と「彦根を遊ぼう！」

プレ彦根あそび博・11月23日(祝日)

毎年「ぶらつと彦根」では「彦根の歴史」を学び、テーマに沿った「街あるき」をしてきました。

今回は、2007年3月から11月まで開催される国宝・彦根城築城400年祭の協賛事業の試行(プレ・「彦根あそび博」)として彦根ならではの内容を計画しています。また、携帯電話を利用した学習型まち案内システム「まちナビ」の実験、琵琶湖一周のろし駅伝も同時開催されます。

第1部 彦根の歴史を学ぶ (10時から12時)



彦根商工会議所(彦根市中央町3-8)

○新史料で語る「井伊直弼」

母利 美和(京都女子大学助教授)

○プレ「彦根遊び博」で遊ぼう

山崎 一真(滋賀大学教授)

第2部 彦根を遊ぼう! (13時から16時)

彦根商工会議所出発

資料代500円(施設入場料は別途必要)

- ① 善利組・組屋敷界隈で遊ぼう(芹橋1・2丁目)
- ② 脇街道・七曲で遊ぼう(河原町1・2丁目、七曲り)
- ③ 芹川・雨壺山で遊ぼう(後三条町、中藪町)
- ④ 城郭・内曲輪で遊ぼう(尾末町、金亀町)



埋
木
舎

それぞれの彦根物語 11月号

築城400年祭《談話室》へのご招待

わたしたちは、土曜日の朝10時30分から、寺子屋力石の談話室で「それぞれの彦根物語」を開いています。歴史の話、好きな散歩道の話、ボランティアの話など。どうぞ、お気軽にお越しください。

【彦根物語17】平成18年10月28日(土)

「佐和山を10倍楽しむ法」

田附 清子(佐和山城研究会代表)

【彦根物語18】平成18年11月4日(土)

「女将が語る『袋町今昔物語』」

小島 征矢子(料亭「小島」女将)

【彦根物語19】平成18年11月11日(土)

「伝統的建造物群保存地区のまちづくり」

池野 保(滋賀県文化財保護課・建造物担当主幹)

【彦根物語20】平成18年11月18日(土)

「私達のボランティア支援について」

山崎 時雄(カンボジア大地の会・友仁山崎病院会長)

【彦根物語21】平成18年11月25日(土)

「商店街 過去～現在～未来へ」

木下 良蔵(彦根商店街連盟会長)



【会 場】ひこね街の駅 「寺子屋力石」

彦根市河原2丁目3-6 花しょうぶ通り

TEL:0749-27-2810 参加無料。

駐車場がありませんのでご配慮をお願いします。

特集 彦根の町家の魅力 土戸のある町家

滋賀県立大学教授 濱崎一志

連載 創造的修景を考える(6)
夢を持つこと・心のグランドデザイン
建築家 戸所岩雄

●「星空映画祭」無事終了

●長曾根御門の復元に向けて
実測調査始まる

●私の好きなまちかどスポット
誰がなんと言っても「中央公園」